

会 議 録

会議の名称	平成26年度第3回行田市市民公益活動推進委員会
開催日時	平成26年9月26日(金) 開会：午後1時35分　閉会：午後3時10分
開催場所	男女共同参画推進センターVIVAぎょうだ2階学習室
出席者氏名	金原二郎委員、串田隆義委員、園田佳代子委員、織田和美委員、 関川忠彦委員、中村博行委員、村澤洋委員、齋藤貴美子委員、 稲葉誠一委員、長谷川龍委員、野本翔平委員、松井秀二郎委員、 田尻要委員、矢本政子委員、吉田桂子委員、坂野雅英委員、 阿部オブザーバー、木村オブザーバー、東恩納オブザーバー
欠席者氏名	鈴木孝佳委員、今村武蔵委員、加藤修委員、矢部正オブザーバー
事務局	門倉課長、吉田主査、秋田主事
会議内容	司会 吉田主査 1 開会 2 委員長挨拶 3 議題 (1)市民活動やる気応援助成金の審査について (2)委員会の活動方針について (3)(仮称)行田市市民公益活動推進基本計画策定について (4)その他 4 閉会
会議資料	(資料1)行田市市民活動やる気応援助成金事業提案書(NPO法人CILひこうせん) (資料2)行田市市民活動やる気応援助成金事業提案書(NPO法人行田観光物産会) (資料3)新たな取り組み応援事業 審査・評価基準 点数早見表 (資料4)「行田市市民公益活動推進委員会」及び「(仮称)行田市市民公益活動推進基本計画」の今後について (資料5) (仮称)行田市市民公益活動推進基本計画～協働のまちづくりを目指して～
その他必要事項	傍聴者1名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会 委 員 長 司 会 議 長 事 務 局 議 長 委 員 事 務 局 議 長 提案団体 議 長 委 員 提案団体 委 員 提案団体 委 員	1 開会 2 委員長挨拶 3 議題 ・委員長に議事の進行をお願いする。 ・議事に入る。 ・議題（１）「市民活動やる気応援助成金の審査について」事務局より説明をお願いする。 ・審査方法について説明。 ・事務局より説明があった件について、何か質疑等はあるか。 ・平均B以上でないと基準点に満たないというが、全ての項目がB以上でなくても、合計点が24点以上となればよいということか。 ・その通りである。 ・事務局から審査方法についての説明があったが、公平かつ市民活動を行う団体を支援する意識を持って審査をしていただきたい。 ・提案団体「NPO法人CILひこうせん」より提案説明をお願いする。 ・説明時間は10分以内、その後20分程度の質疑の時間を設ける。 ー提案説明ー ・質疑に入る。何か質問等はあるか。 ・すばらしい取り組みだと思う。埼玉りそな銀行を中心とした、半径500mの範囲にある10～15店舗にアートを展示するにあたり、アートの提供に関する予算等が取られていないが、どのように考えているか。 ・私達の団体には6名のアーティストがいるので、その作品を展示するとともに、無償でアートを提供していただける場合はそれらの展示も検討したいと考えている。 ・アートを展示する店舗の借上げ料等は計上していないのか。 ・展示してもらう店舗からお金を取る予定も、払う予定もない。アートを展示している店舗を表記したマップを作成する予定なので、お店のPRにもなると思われる。 ・現在シャッターを下ろしている店舗にもアートを展示し、活性化に

	<p>繋げてほしい。店舗の選定に当たって基準は設けるのか。</p>
提案団体	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の基準を設けたいと考えている。少し歩けばおしゃれなお店やギャラリーがあるようなまちにしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、助成金を使って事業を実施した場合、来年度以降はどのように事業を継続していくのか。
提案団体	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度以降は事業に賛同していただける仲間を募り、新たにNPO法人を立ち上げることも含めて検討している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度以降は単独での事業継続はないということか。
提案団体	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでも、様々な形でアート展を実施してきているので、事業は継続する。事業拡大のために賛同者を募ることが必要である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・予算の中に印刷費が計上されていないが、マップの印刷は内部で行うのか。
提案団体	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷機を所有しているので、内部で印刷したいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化のためには印刷の見積を市内の業者から取り、比較検討するべきではないか。
提案団体	<ul style="list-style-type: none"> ・検討する。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・他にあるか。 <p>—特になし—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審査に入る。提案団体は退出をお願いする。 <p>—審査—</p> <p>—集計—</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・集計結果を発表する。30点満点中平均点が26.26点であったことを報告する。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて、提案団体「NPO法人行田観光物産会」より提案説明をお願いする。
提案団体	<p>—提案説明—</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・質疑に入る。何か質問等はあるか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・行田在来青大豆は、市内でどのくらい生産されていて、加工品はどのくらいの品種があるのか。
提案団体	<ul style="list-style-type: none"> ・正確には調べていないが、生産量は少ない。加工品を作るための原材料は1kgあたり1,000円ほどと高い。中々市場に流通しないのが残念である。

委員	・生産量が少ないということであるが、加工品を開発するには十分の量を確保できるのか。
提案団体	・行田在来の青大豆はそもそも農家が自宅で食べるために生産していたが、育てるのが難しく、徐々に生育が容易な品種に置き換えられていった。豆腐などの製造には行田在来青大豆が向いているということで、埼玉県が保有していた原料で生産が再開された経緯がある。このため、生産量は年によって変化するが、去年は多かったと聞いている。ただし、加工品を開発しない年はないので、加工品の製造には問題ないと思われる。
委員	・現在考えている加工品の案があれば教えていただきたい。
提案団体	・現在は、青大豆のポタージュスープや蒸しパン、蒸しカステラなどが作られ販売されている。しかし、どの加工品を作るにも、原料を農家から購入すると高い。団体にまとめて購入し、枝豆の状態まで加工したものを販売すれば原材料費が抑えられる。
委員	・この事業にはどのくらいの農家が協力してくれるのか。
提案団体	・2軒の農家から約150kgを仕入れたいと考えている。
委員	・青大豆を納豆や味噌に加工すると、他の大豆とは違った味になるのか。
提案団体	・納豆や味噌も作ってはいるようだが、市場に出回っているかどうかは分からない。我々は枝豆を原材料とした新商品の開発を考えており、乾燥した大豆を原材料とした商品については詳しく分からない。
委員	・青大豆を原料とした商品を食べられる店舗はあるか。新商品の開発も大事だが、現在ある商品をPRする方が地域の活性化に繋がるのではないか。
提案団体	・青大豆が生産販売されているにも関わらず、地域に浸透しない。大豆単体ではPR効果が薄いので、加工品の開発に力を入れたいと考えている。いずれは試食会やマップ作りなどに発展させていきたい。
委員	・新商品の開発は団体で行うのか、業者などに委託するのか。
提案団体	・市内の業者にサンプルを配布して開発していただく。出来上がった商品は団体の活動の中でPRしていく。
委員	・団体では新商品の拡販を行うということか。
提案団体	・そのように考えている。

委 員	・提案事業名が「行田在来青大豆の加工と商品開発促進事業」となっているが、商品開発はしないのか。
提案団体	・青大豆を枝豆の状態まで加工するところまでは団体で行い、商品開発については市内業者に投げかける。
委 員	・開発商品の売上げが予算に計上されていないが、商品開発による売上げは見込まなくてよいのか。
提案団体	・青大豆を仕入れて枝豆の状態に加工し、2kg1,500円程度での販売し、商品開発に活かしてもらおう。150kgの材料を仕入れれば、100kg程度の枝豆ができる。この売上げは、来年度の事業予算に計上する。
委 員	・材料を150kg仕入れるというが、仕入先は決まっているのか。
提案団体	・長谷川農園とその関連農家からの仕入れを検討している。
委 員	・長谷川農園は団体の会員となっているが、地域の活性化のためには会員以外の農家から仕入れた方がよいのではないのか。
提案団体	・行田在来の青大豆は長谷川農園の紹介で使用するようになったので、そちらからの購入を検討していた。
委 員	・加工したものを業者に販売する際は、新商品の開発に使用することを条件とするのか。
提案団体	・新商品の開発に当ててほしいと考えているが、青大豆の流通を増やすことも必要であるので、条件はつけない方向で考えている。
委 員	・安く購入できるようにすることで、結果的に流通量を増やしたいということか。
提案団体	・その通りである。
議 長	・時間となったので質疑を終了する。 ・審査に入る。提案団体は退出をお願いします。 —審査— —集計—
事 務 局	・集計結果を発表する。30点満点中平均点が25.17点であったことを報告する。
議 長	・以上で、市民活動やる気応援助成金の審査を終了する。 ・続いて、議題（2）「委員会の活動方針について」事務局より説明をお願いします。

事務局	・ 前回の委員会にて指摘のあった、委員会の活動方針の表現を一部変更し、「市民を始めとした様々な自主的かつ主体的な市民活動を支援し、多様な主体による協働のまちづくりを推進する」とした。なお、事前に委員からの意見はいただいていない。
議長	・ 何か意見等はあるか。
委員	・ サポセンの設置については別に定めるのか。
事務局	・ 説明させていただいたのは、委員会の活動方針のみであり、サポセンの設置等の詳細な部分については、「（仮称）行田市市民公益活動推進基本計画」の中に定める。
委員	・ 活動方針は「多様な主体」によるという表現に変わったが、今後の展開の右下の部分で「様々な主体間での協働」という表現を使っている。こちらも多様なという表現に統一した方が良いのではないか。
事務局	・ こちらは、一昨年に作成した「行田市市民公益活動推進基本計画骨子（案）」の表現に合わせている。骨子の表現と変わると分かりにくいので、様々なという表現を残した。
委員	・ 理由があるのであれば変更せずに良いのではないか。
議長	・ では、このままで進める。他に何かあるか。
議長	—特になし—
議長	・ 続いて、議題（３）「（仮称）行田市市民公益活動推進基本計画策定（以下基本計画という）について」事務局より説明をお願いします。
事務局	・ 前回指摘を受けた表記などを一部変更した。空欄になっている部分は今後の策定作業の中で加える。なお、こちらも事前に委員から意見はいただいていない。
議長	・ 何か意見等はあるか。
委員	・ 基本計画 14 頁、（４）「協働の推進」の計画目標③役割の明確化について、コーディネーターの育成という言葉があるが、ここは養成、育成どちらの表現を使った方がよいか。また、コーディネーターの育成は重要な課題だと思われるので、具体的推進方法の中にもその点を明記したほうが良いのではないか。
事務局	・ 人材を発掘して育てるという広い意味で使いたいのので、養成ではなく育成という言葉を使った。
議長	・ 他に意見等はあるか。

<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画 2 頁、2 計画の位置づけの中で第 5 次行田市総合振興計画の期間が西暦表記になっているが、その他の部分は和暦表記になっている。使い分けをしているのか。
<p>事 務 局 議 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・使い分けているわけではないので、和暦に統一する。 ・他に何かあるか <p>—特になし—</p>
<p>議 長 司 会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・以上で議長の職を解かせていただく。 ・以上で第 3 回行田市市民公益活動推進委員会を終了とする。